

指定管理業務評価結果書

1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	神楽尾公園
(2) 指定管理者	所在地 津山市山北764番地5 名称 株式会社 ガット 代表者 代表取締役 美甘 信吉
(3) 公の施設の所管部署	津山市 都市建設部 公園緑地課
(4) 指定期間	平成21年4月1日～平成26年3月31日
(5) 評価対象期間	平成22年4月1日～平成23年3月31日

2 施設の利用状況

(1) 利用者数等	公園入園者数 20,475 人 (うちゴーカート利用者数 5,167 人) 管理棟研修室利用 16 回、延べ 584 人 キャンプサイト利用者数 1,312 人
(2) 事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・お花見イベント 160 人 ・玩具自販機の設置 1,325 人 ・工房咲季による押し花展 350 人 ・神楽尾城跡 尺八・箏の響 100 人 ・キャンプ教室 60 人

3 収支の状況

(1) 収入 (指定管理者の収入)	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">総額</td> <td style="text-align: right;">11,381千円 (前年度 11,267千円)</td> </tr> <tr> <td>公園利用料金収入</td> <td style="text-align: right;">673千円</td> </tr> <tr> <td>指定管理料</td> <td style="text-align: right;">10,580千円</td> </tr> <tr> <td>自主事業収入</td> <td style="text-align: right;">128千円</td> </tr> </table>	総額	11,381千円 (前年度 11,267千円)	公園利用料金収入	673千円	指定管理料	10,580千円	自主事業収入	128千円				
総額	11,381千円 (前年度 11,267千円)												
公園利用料金収入	673千円												
指定管理料	10,580千円												
自主事業収入	128千円												
(2) 支出 (指定管理者の支出)	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">総額</td> <td style="text-align: right;">11,906千円 (前年度 12,186千円)</td> </tr> <tr> <td>主な支出 人件費</td> <td style="text-align: right;">8,029千円</td> </tr> <tr> <td>光熱水費</td> <td style="text-align: right;">400千円</td> </tr> <tr> <td>修繕・消耗品費等</td> <td style="text-align: right;">1,947千円</td> </tr> <tr> <td>負担金・公租公課</td> <td style="text-align: right;">419千円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: right;">1,111千円</td> </tr> </table>	総額	11,906千円 (前年度 12,186千円)	主な支出 人件費	8,029千円	光熱水費	400千円	修繕・消耗品費等	1,947千円	負担金・公租公課	419千円	その他	1,111千円
総額	11,906千円 (前年度 12,186千円)												
主な支出 人件費	8,029千円												
光熱水費	400千円												
修繕・消耗品費等	1,947千円												
負担金・公租公課	419千円												
その他	1,111千円												

4 総合評価結果

<p>(1) 指定管理者の自己評価</p>	<p>利用者数は、20,475人（対前年比108.2%）と向上した。快適な公園を目指し、剪定、草刈、除草に努める一方、事故発生時に備え、救急訓練、消防訓練に取り組んだ。自主事業としては、津山B級グルメ「ホルモンうどん」屋台の出店や研修室での展覧会の実施等、多くの利用者より評価を得、公園の認知度アップにつなげた。また、老朽化となった仮設トイレの故障を修理し、老人ホームや障害者団体の利用者数の向上につなげた。夜間における野外施設無断利用者による私有地への生ごみ等の不法投棄については、地域住民からの要望もあり、警察による夜間パトロールの強化を実施している。年度事業計画に対しては、利用者アップから公園管理、自主事業等、ほぼ計画通りに実施できた。</p>
<p>(2) アンケート調査の概要</p>	<p>平成22年8月、10月、11月、平成23年2月の計4回に渡って実施したアンケート調査の結果によると、利用者の属性は、男性37%、女性63%、年代は30代が41%と最も高い。利用者の居住地は、津山市が79%、家族での利用が65%となっている。また、公園を知った理由としては、家族や友人が56%、その他（幼稚園、保育園等）が37%となっている。公園についての感想、要望は「遊具等、老朽化に伴う痛み箇所が多く、危険」「新しい遊具を増やしてほしい」「木が高いので、子供が視界から消えてしまう」「保育園の帰りにゴーカートを利用したいので、閉館時間を遅くしてほしい」「ゴーカートコースを長くしてほしい」等があった。これらについては、今後、市側と協議を進め改善したい。</p>
<p>(3) 市の評価</p>	<p>事業計画に基づき、着実に事業実施されている。なかでも、公園の特性を生かした自主事業を積極的に取り組み、公園利用者にも大変喜ばれ、利用者も前年より伸びている。また、施設の老朽が進んでいる箇所については、自社で修繕等を行うなど施設ならびに樹木管理も十分であった。さらに防災面においても自主訓練を行い、利用者が安心・安全に利用できる環境づくりに取り組んでいた。</p> <p>今後においては、利用者の低い季節の利用促進や、公園を利用した活動に関する情報をマスメディア等を利用して広く提供するなど、新たな施設の活性化に向け、より一層の意欲ある取り組みを望む。</p>